

K22092 レアメタル再資源化総合システム評価技術開発

東北大学多元物質科学研究所 代表研究者 中村 崇

本研究では、各種廃棄物からのレアメタル再資源化ルートの社会システム的問題点、ならびに技術課題を明らかにし、それぞれの廃棄物のレアメタル再資源化のボトルネックを明らかにする。情報収集は、既存の文献資料を中心に、ヒアリングなども行うが、最新鋭情報の効率的収集法として関連のシンポジウムを開催し、多くの研究者から生のデータを公表してもらう。

評価の一部として CO₂ 発生量を基にした LCA(Life Cycle Assessment)データを使用するので、レアメタル再資源化における LCA の評価を、廃棄物産業連関表 (WIO) を用いた手法で行う。その手法の確立並びにそのためのデータの採取を行う。

また、廃棄物からのレアメタル再資源化の効率的な研究リソース投入を政策的に行うことを目的として、総合評価基準の提案ならびに、その手法の確立を行う。そのために異なる専門の学識経験者による委員会を設置し、検討を行う。

本プロジェクト開発により、多くの研究者、機関で行われているレアメタルのマテリアルフローからの資源化ポテンシャル、収集システム、再資源化技術、有害物管理の俯瞰を行い、政策課題の抽出を行う。

レアメタル再資源化総合システム 評価技術開発

